

地域の皆様へ

目黒区立八幡公園のリノベーションに向けたニュースレター

令和8年7月発行

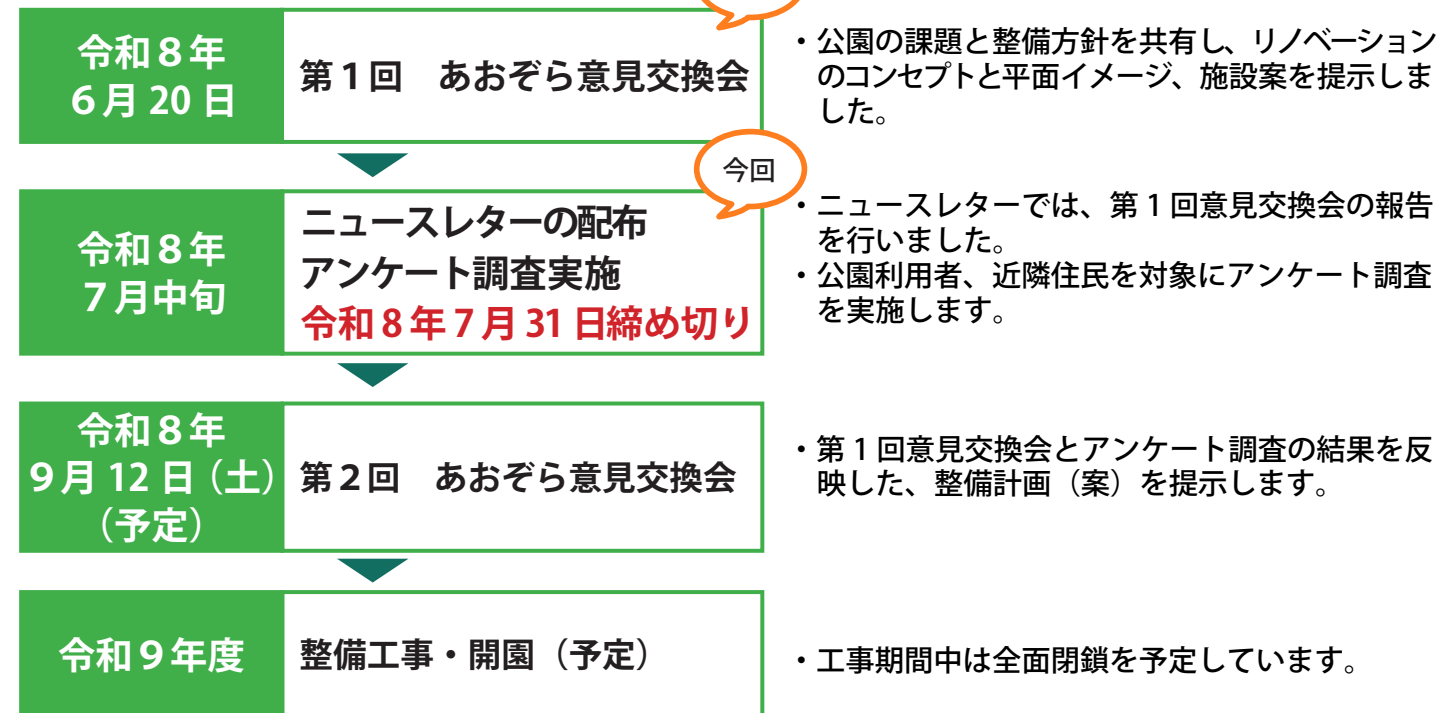
【Q&A コーナー】

- ・Q1：公園の一番大きな樹木の名前はムクノキ、エノキのどちらが正しい？
- ・A1：枝葉を採取し、葉、実、樹皮を総合的に確認した結果、ムクノキと判明しました。
- ・Q2：八幡神社の読み方は？
- ・A2：「はちまんじんじゃ」です。公園名は「やはた」です。



4. 公園整備のスケジュール・アンケートのご案内

■公園整備のスケジュール



■アンケートのご案内

整備内容の検討にあたり、Webアンケートを実施します。
二次元コードからアクセスいただき、皆様のご意見・ご要望をお聞かせください。

回答締切：

令和8年7月31日(金)まで



※回答に要する時間は5分程度です。

第1回あおぞら意見交換会の資料はWebアンケートまたは目黒区公式サイトから閲覧ができます。
「目黒区八幡公園」で検索ください。

【お問合せ先】

目黒区役所 都市整備部 みどり土木政策課 施設整備係 担当：在原(ありはら)、戸木田(ときた)

電話：03-5722-9753 ファックス：03-3792-2112 メール：midoridoboku07@city.meguro.tokyo.jp

1. 目黒区立八幡公園リノベーション工事について

目黒区立八幡公園は開園から54年が経過し、園内施設の老朽化が進んでいます。また、遊具は現在の安全基準を十分に満たしておらず、ベンチは一部破損していることから、安全性における課題が明らかとなっています。設備に関しても、トイレは子ども連れの方にとって狭く、水飲みは車いす利用に配慮した構造となっていない状況があります。

そのため目黒区では、施設のバリアフリー化を行い、誰もが安全に利用できる公園を目指して、目黒区立八幡公園(中目黒4-15-21)のリノベーション工事を予定しております。令和9年度の工事に向けて、今年度は、地域の皆様と意見交換を重ねながら、整備内容をまとめていく予定です。

2. 第1回 あおぞら意見交換会を実施しました

■あおぞら意見交換会の様子

6月20日(土曜日)に【第一回あおぞら意見交換会】を開催し、29名の方にご参加いただきました。意見交換会では、まず最初に八幡公園の課題の共有と整備方針(案)の提示を行いました。(P.2参照)。その後、3つの計画案と、遊具・ベンチのパネルをもとに参加者の皆様からご意見を募りました。



■あおぞら意見交換会で共有した八幡公園の課題

【課題①】園内施設の老朽化と安全性の確保

- ・遊具について、今の基準に適合した安全に遊ぶための空間が確保できておらず、特にブランコについては部分腐食が進行しております。施設についても、ベンチの一部破損(写真A)やパーゴラの腐食が進行しており、利用者の安全を確保に向けて更新を行う必要があります。

【課題②】誰もが利用しやすいバリアフリー化の推進

- ・トイレ(写真B)や水飲みは、すべての方にとって利用しやすい設計とはいえず、出入口(写真D)から主要施設まで経路(写真C)についても、空間の不足や大きな段差があります。誰もが不自由なく施設を利用できるよう公園のバリアフリー化を行う必要があります。

【課題③】ダスト舗装の流出と歩行環境の改善

- ・長年の降雨によりダスト舗装が流出し、マンホール周辺は段差ができ(写真B)、樹木の根が露出しています。公園利用者のつまずきにつながることから、舗装の流出対策を行う必要があります。



3. 整備方針（案）と計画案に対する参加者のご意見

■整備方針（案）を設定しました。

1. 誰もが安全に安心して利用できる公園づくり

- ・ バリアフリーに対応した施設に更新します。
- ・ 現在の安全基準に適合した遊具を設置します。

2. 公園の魅力度アップ

- ・ 空間構成や施設配置を見直し、より使いやすく魅力的に再編します。
- ・ 公園の顔となる出入口とシンボリック存在の樹木に魅力的な景観を創出します。

3. 周囲の公園との差別化

- ・ 思い思いに過ごせる居場所を点在させ、周辺公園に少ない、都市の中でほっと一息つける憩いの場を創出します。
- ・ 遊具について、周辺公園とのバランスを考慮し、それぞれの公園に異なる楽しみ方が生まれるよう選定します。

4. 多世代の利用を想定する

- ・ 幼児から高齢の方まで、多世代が心地よく利用できる空間づくりを目指します。
- ・ 多目的に利用できる広場を確保します。

■整備の方針をイメージしやすいコンセプト（案）を提示しました。

『ふらっと立ち寄れる “すえひろがり” 八幡コミュニティパーク』

- ・ これまで地域の憩いの場として親しまれてきた八幡神社のように、地域の輪や人々の活動が “ひろがる” 公園を目指したコンセプトとなっております。
- ・ 遊ぶ人、見守る人、休憩する人などそれぞれが思い思いに心地よく過ごすことができるよう、皆さんと一緒につくっていきます。

■計画案を3つご提案しました。

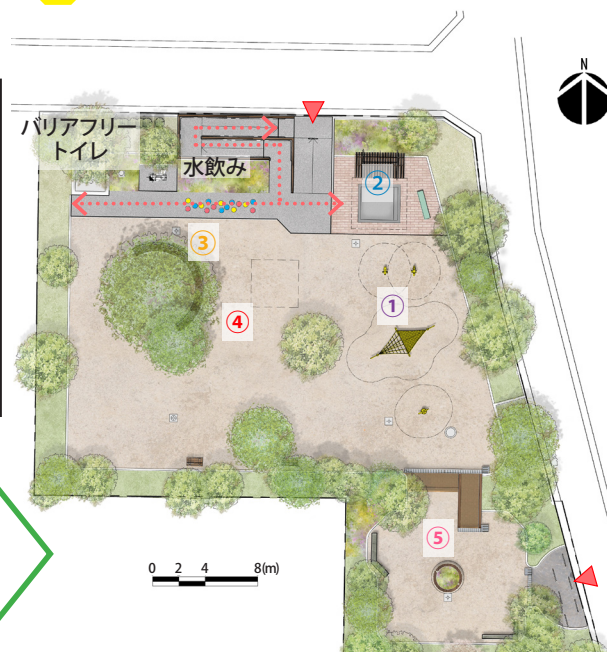
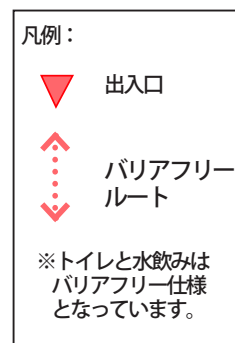
3案の共通事項

- ・ トイレ・水飲場、出入口からの動線をバリアフリー化しました。
- ・ ①遊具エリアを再整備し、北東側に②見守りエリアを設けました。
- ・ 木陰には、③座ってくつろげる空間を設けました。
- ・ 公園の中央は、地域のお祭りなどにも利用できる④広場としました。
- ・ ⑤は現在と同様に静かに過ごせるエリアとしています。

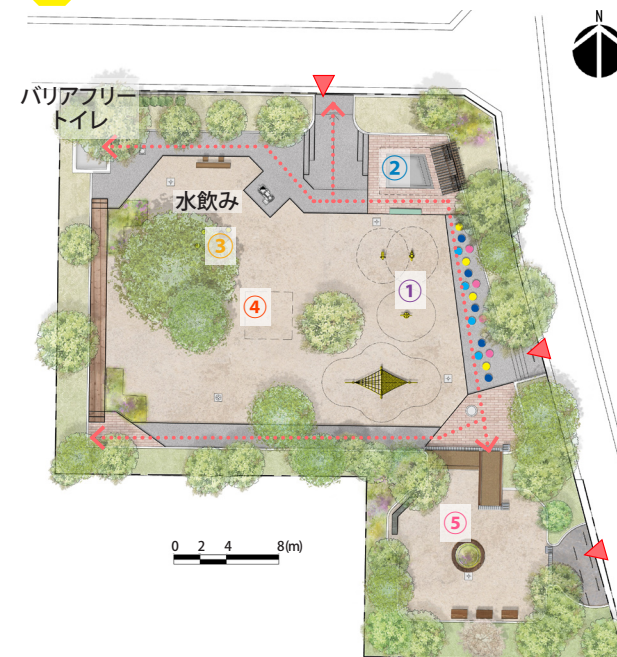
【A案の特長】

- ・ 北の出入口は、つづら折りのスロープを設け、中央の広場をより一体的に広く確保します。
- ・ 3案の中では今の公園の使い方に一番近い案です。

A つづら折リスロープ案



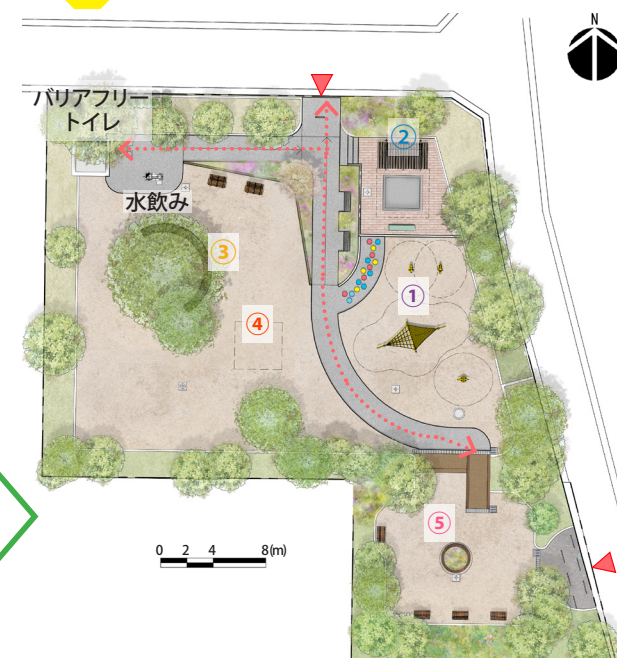
B いろんな舗装がぐるりと続く案



【B案の特長】

- ・ 植栽帯に沿って回廊型に園路を設け、広場と公園周りとを区切る案です。園路は隣地との緩衝帯の役割も持ちます。
- ・ 3案の中では土舗装の流出を一番抑えることができます。

C 園路で出入口をつなぐ案



【C案の特長】

- ・ 南北をつなぐ園路によって、遊具のエリアと広場を区別します。
- ・ 3案の中で、一番安心して遊ぶことができる案です。

遊具のイメージ



ボール&ハーフボール



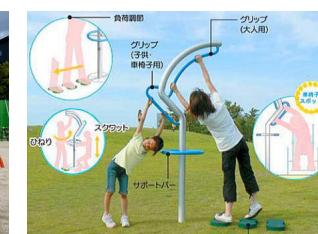
ツイストモック



インクルーシブぶらんこ



くじらのうんてい



よこよこストレッチ
(健康遊具)

■意見交換会でいただいたご意見を抜粋してご紹介します。

【整備計画案について】

- ・ お祭りなどの人の集まりごとにも使うので中に道路のないA案がいいのかなと思う（B案の近隣を配慮するという事は良いと思います）。

【出入口について】

- ・ 北側入口は広い方が良い。お祭りに車を入れる。2t車がギリギリ。
- ・ 東側中央の出入口（階段の出入口）からのボール、子どもの飛び出しを経験した事があり、出入口の廃止 or 見切りを良くしてほしい。
- ・ 子どもたちや保護者含め、入口の外に自転車を置く方が多く、車庫の出入りができずに困ることが多いです。明確な駐輪場所を作してほしいです。

※ここに掲載したのは頂いたご意見の一部になります。

【トイレについて】

- ・ トイレが暗くて1つしかなく、男性が使ってるものをひとりで使う状況になり得るのが気になり、子どもだけで遊びに行かせることに抵抗感あります。

【遊具について】

- ・ 小学生でも遊びごたえのある遊具がほしい。

【その他】

- ・ 砂が流れて砂ぼこりで車がよごれる。
- ・ 日陰のエリアが無いので、日除けを増やしてほしいです。
- ・ 防災的な設備はあってもよい。
- ・ 現在のベンチは人が1人座っているともう座れない。サークルベンチで外に向くのがよい。
- ・ 樹名板を付けてほしい。